

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市立図書館協議会		
事務局 (担当課)	図書館 電話042-754-3604 (直通)		
開催日時	令和6年8月22日(木) 午後6時～8時		
開催場所	相模原市立図書館 2階 中集会室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)	
	その他	1人(生涯学習課職員)	
	事務局	9人(図書館長、相模大野図書館長、橋本図書館長、他6名)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議 題	<p>(1) 議題 令和5年度図書館事業評価の進め方について</p> <p>(2) 報告事項 ア 令和5年度の事業報告について イ 淵野辺駅南口周辺のまちづくりの取組状況について ウ その他</p> <p>(3) その他</p>		

議 事 の 要 旨

(大谷会長) 今回は、議題が一つと報告が三つだが、報告事項の中の淵野辺駅南口周辺のまちづくりの取組状況については、生涯学習課の方に来ていただいているので、先にこちらから進めさせていただきたい。

(2)報告事項 イ 淵野辺駅南口周辺のまちづくりの取組状況について

生涯学習課から、資料3に基づき説明した。

(大谷会長) 説明は以上ということになりますが、委員のみなさまからご質問、意見ありますでしょうか。

(佐々木委員) 新しい施設ができるのは楽しみです。引越しの伴って長期的な休館期間が生じるのでしょうか。

(生涯学習課) 引越しの時には休館を伴うことにはなりますが、現段階ではどのくらいの期間になるかはわかりません。他の事例では3か月程度の休館期間を設けているところがあり、数か月程度は休館する必要があるのではないかと、いうことを想定しているところです。

(事務局) 休館中は、窓口を他に設けるなどの事例もあるので、図書館の機能をできるだけ継続できるように検討していきたいと思っております。ただ、どうしても一定の期間は、図書館の機能を制限することになると思っております。

(大谷会長) そうはいつても、今回は、取り壊して、同じ場所に建て直すのではなく、新しいところに引越すので、一定期間はどうしてもかかるだろうが、建て直しに比べれば短い時間で済むのではないかと。

(遠藤委員) 新しい複合施設では、目的がある人もない人も、ということですが、青少年学習センターなども複合施設に含まれていて、児童生徒が集まる、小さいお子さんも集まるので、誰もが気軽に集まるというところに防犯上の危惧があるが、そのあたりはどうお考えですか。また、ずっと滞在したくなる空間を、ということでしたが、駐車場は、今は無料ですが、今後は有料になることも想定されるので、そうすると、そうは気軽に滞在できないのではないかと、思うがどうか。

(生涯学習課) 防犯上の懸念はこれまでもご意見をいただいているところですが、例えば防犯カメラの設置や見守りスタッフ等の配置体制など、今後詳細な検討をしていきたいと考えています。駐車場につきましては有料化を検討しており、駅前という立地上、施設利用者以外の方が駐車してしまうことがあるため、適正利用を図りたいと考えています。利用者に対しては、何らかの対応をしたいと考えています。

(宮原委員) さきほど和室や調理室などについてどうなるのかなど、部屋についての話がありましたが、ほかの施設では、キッチンがあったりとか、鏡張りのダンスフロアなどがあるなど、特色があると思っておりますが、現時点でどのよう

な部屋割りになっているのでしょうか。

(生涯学習課) 現段階では細かい仕様等は決まっておらず、利用率や利用人数等の利用実態を調べまして、例えば和室を利用するような活動がどの程度あるのか等により必要な数等を検討しているところです。和室や料理実習室についても利用実態がありますので、必要な数を残していく方向で検討を進めているところです。最終的には、最低限の市が求める要求水準をお示しし、民間事業者から提案をいただくことを想定しています。

(大谷会長) ほかにありますでしょうか。

駐車場の無料時間につきましてはいろいろご意見もあると思いますが、コンセプトも踏まえて検討していただきたい。3時間とか・・・8時間というのは長いと思いますが、30分とか1時間ではなく、昨今の図書館利用、長めですので、配慮いただければと思います。

(宮原委員) 大和市のシリウスでも駅が近いので、施設の駐車場台数も少ないこともあり、また、民間の駐車場も多数あり、金額を合わせたところ、市民からのご意見は、相当あったと聞いている。

こちらの図書館でも、今まで無料だったものを有料化という話では、慎重にご検討された方がいいのではないかと思います。

(高柳副会長) 今までワークショップや市民検討会に出席してきましたが、この新施設は、立地条件が、駅から公園までの間に、あまり高い建物もなく見通しも良く、目的がなくても、ふらっと行って一日過ごせるという恵まれた条件なので、新施設についての検討会では、利用者に喜んでいただけるような、小さいお子さんから年配の方まで、利用してもらえる施設になるよう、丁寧に話しあえた会になった。これからいろいろ細かい問題点もいろいろ話し合うことになると思うが、今までの意見を生かしながら進めていってほしいと思います。

(大谷会長) それでは、議題に戻りたいと思います。令和5年度の図書館事業評価の進め方について説明があります。よろしくお願ひします。

(1)議題 令和5年度図書館事業評価の進め方について

事務局から資料1-1、1-2に基づき説明した。

(大谷会長) ではみなさんから質問いかがでしょうか。

(小山委員) 3点あります。一つ目は、内部評価の内容見直しについては、自発的な内容見直しなのか、各所からの指摘があったのか。こういうふうに直したほうがいいんじゃないかというのは、資料に示されたもの以外にもあったのかなど、その背景を教えてほしい。

二つ目はそれに連動するのだが、ここまでやるのは大切と思う一方で、評価をするのにどのくらいの労力をかけるのかという視点もある。労力をかけ

たからには、P D C Aのサイクルを回して評価を今後の活動に生かしていかなければならないが、そうした全体的なプロセスを想定した上での見直し案になっているのだろうか。

最後に、ほかの部署でも同じように詳細な評価を実施していて、それが図書館にも求められているのか。以上3点について教えてほしい。

(事務局) まず、見直しの背景については、教育委員会への報告の過程で、内部評価の分かりにくさについて意見がありました。また、各委員のご意見の中でも、評価をする上で判断がしにくい部分があるというご指摘があり、それを踏まえ見直しを図りたいと考えました。

具体的なお意見としては、資料1-1の2ページの内容になりますが、(1)は図書館の内部評価が点数化とそれによる段階評価が主で、評価について図書館がどう考えているのかが分からないという主旨であったので、内部評価には図書館の所感を加えたもの。(2)は、施策の取組状況について、取り組んだと判断しにくい部分があるという主旨であったので、取組状況の概要を加えたもの。(3)はまさにP D C Aサイクルに係ることとして、評価を受けて図書館がどのようなことに取り組んでいくか分からないという主旨であったので、大きな方向性のレベルで今後の取組を加えることを検討しました。

次に、評価全体のプロセスの中での適切な見直しであるかという点について、これまで評価の分量については、協議会にご協力いただきながら、適切かつ分かりやすいものになるよう見直しをしてきた経緯があった。今回は分量を増やすことになってしまうが、他方で、図書館としては評価を行い図書館の活動をしっかり説明していくことも大事であると考え、評価実施に過度な負担にならない程度で、分かりやすい内容とするよう努めた。

最後に、他部署の評価の事例として、例えば教育委員会でも点検評価を実施しており、図書館を含む教育委員会全体の評価を行っている。図書館個別の部分についての記載は多くはないが、教育委員会全体の事業にわたる大きなボリュームとなっている。また、例年9月頃までに公表されており、図書館の評価においても、それを参考に公表時期の検討を求められてきたところである。

(小山委員) 評価活動が、最終的に図書館の活動に生かしていけるような評価としていただきたいと思います。

(大谷会長) 他の委員の方、いかがでしょうか。

私も基本的には評価することが目的ではないと考えているので、次にどうつなげていくのかが重要と考えている。数字をもとに、トレンドも踏まえて考えていく仕組みにして、評価を行う負担はなるべく重くならないよう、評価をすることが目的になってしまうのではなく進めていきたい。

教育委員会の評価のサイクルが早いのは承知したが、ほかの自治体を見て

も、図書館事業評価は年末ごろになっている。やはり実績の数字が上がってこないと評価できないので、実績の数字をしっかりと見てから評価するということで時期的なことはご理解いただきたい。

12月の教育委員会定例会開催はいつ頃ですか。

(事務局) 例年12月末ごろの開催です。

(大谷会長) 10月に説明を受けて11月に確定できるのか、日程調整ができるのか、いろいろあると思うので、教育委員会の定例会に間に合わせることは、できるだけ間に合わせたいと思うので、現実味のあるスケジュールで、日程に関してはご配慮いただきたい。

次の報告事項も事務局からお願いします。

(2)報告事項 ア 令和5年度の事業報告について

事務局から資料2-1、2-2に基づき説明した。

(大谷会長) はい、ありがとうございます、質問いかがでしょうか。

(高柳副会長) 入館者数は増えていて、貸出しが減っているというのは、イベントに参加する人が多いということですか？

(事務局) かならずしもそうとはかぎらないが、事業の参加者も徐々に増えている。

(事務局) 相模大野図書館の場合、新聞や雑誌を読みに来る、涼を求めに来るという人も一定数いらっしゃいます。

(高柳副会長) 図書館はいろいろな利用があっていると思うが、やはり貸出しは多い方がいいのかしら。

(大谷会長) それはそうですねえ。

(大谷会長) これ自体が評価の対象になるということなので、今すべて突き詰めなくてもいいですが、いろいろな要素を見ながらいろいろな意見を出していただきたいかな、と。

(小山委員) 事前に資料をいただいて眺めていたが、貸出しの数字があまり芳しくないと感じた。また、他のページは数年分の数字が載っているが、速報だからとは思いますが、たまたまいただいた資料が貸出冊数については、各図書館ごとに前年の実績が載っているが、相模大野図書館が、伊勢丹の影響なのか、諸事情があるのか、落ちていますね。橋本も若干落ちていますね。これから数値を丹念に見ていくのでしょうか、単純に前年度比較だけでは何とも言えないので、みなさんも内部評価にあたっては、コロナ前までさかのぼりつつ評価していると思うので、出せるものなら数字を私たちにも共有してもらえるとありがたいなと。

あと、登録率が2割を下回っているのはどうなんだろう。どの年代の人がどのくらい、あとは地域ですね、どの地域の方がどのくらい登録されているのか、アクティブなのか。これだけだとわからないので、丁寧な分析が必要

と考えながら数字を見ていきたいと思います。この協議会には、学校図書館の関係者や、子どもにかかわる関係者、生涯学習にかかわる関係者、さまざまな委員がいるのでみなさんの意見を伺っていきたいなと思います。

(高柳副会長) 登録者数の市内在住者数を見ていて、市立図書館と相模大野図書館は3000人くらいで、そんなに差がないけれど、橋本図書館は1万人くらい市内在住者とそうでない人の差があって、市内在住ではない方の登録が多い。橋本はそんなに市内在住ではない人が利用者に多いんでしょうか。市の真ん中あたりにあると思うんですけど。だったら淵野辺も学生が多いから市外の人が多くてもよさそうですね。そんなことを思いながら読んでいました。

(宮原委員) 司書採用は、退職した人の補充ですか。それとも採用計画に基づくものですか。

(事務局) 退職者の補充ではなく、司書職の年齢の偏りがあるものですから、以前から要求していたものが、やっと採用できることになったものです。

今後計画を立てて、採用に向けて、進めていきたい。

(大谷会長) ほかにありますでしょうか。

(佐々木委員) どうやって入館者数をカウントしているんですか。

(事務局) 入口のところにセンサーがあり、人の出入りをカウントする仕組みになっています。

(佐々木委員) 私は市民なので、貸出率が下がっているのが気になる。蔵書の問題もあるとおもうので、財源の確保をお願いしたい。先ほどの新施設の説明でも、駐車場の課金の話は、反発があると思うけれど、駐車場の問題では、駐車場料金を、市に吸い上げではなくて、図書館に利用される収入になるのならいいなと思う。そういうことなら、駐車場代を払う人も納得が得られると思う。

あとは図書館自体が教育委員会なんですけど、でも市民の大半は、高齢者や、一般的な利用者が多いと思うので、高齢者までいかない人たちをどうやって呼び込むのか、一般向けのイベントとかをやって行ってもらいたいなと思います。

(竹内委員) 図書館ではいろいろなイベントがあると思うんですけど、私はこの表を見ているから理解できるんですけど、じゃあどうしたらこういうものを一覧で見ることができるのか。例えば、小学生向けのイベントをどこを見たら一覧で見ることができるのか、パッと開いてどこかで見られれば、参加してみようかなと思う子どもも増えるんじゃないかなと思います。

(大谷会長) 何か手を打っていかないと、ちょっとこれはなかなか厳しいかなと思いますね。いろいろ短期的なもの、中長期的なものを出していかないと。

(竹内委員) 電子書籍、タブレット、小学生に向けて、一覧にしてもらったら、今度は、学校に向けて紙でも配ってもらえると、面談などで学校に来た時に、

保護者が見て気にしてくれる、今度図書館に行こうかなと思ってもらえるのではないかと思います。中学校には中学校向けの。そうしてもらえるといいと思います。

(大谷会長) では、その他について説明をお願いします。

(2)報告事項 ウ その他

事務局から、令和6年度予算及び図書館開館50周年記念事業について説明。

(小山委員) 50周年記念事業について話がありましたが、もう、今8月で、11月のことだから、もっとどんどん公表していてもいいのでは。

(事務局) 広報さがみはら掲載の時期などと合わせて、告知していこうと予定しています。

(小山委員) よくあるのは、カウントダウンするとか、もっと盛り上げてもいいと思うんです。11月にこだわらず、来年までやってもいいのでは。もっと大胆にやっても。

(高柳副会長) お知らせの方法はどのような。

(事務局) 広報さがみはらを中心に、プレスリリースをしたり、SNSや、ホームページ、ポスターやチラシなどを配布するということになります。

(高柳副会長) 一般の市民に届きますかね。

(事務局) プレスリリースをすることで新聞やタウン誌にも取り上げていただくことにもつながりますので、そうしたことで届くように、と考えています。

(小山委員) 学校に配ったりするもいいのでは。

(高柳副会長) SNSとかももっと使ったりするとか。

(事務局) どのような手段が最も届くかご教示いただけたら・・・。

(高柳副会長) やっぱりインスタじゃないですか、カウントダウンと言ったら。

(事務局) 現在はインスタを開設していないので、まずはそこからということになります。

(小山委員) やっぱり、さがみんとかにお願いするのがいいんじゃないですか。

(事務局) 最近では、図書館のSNSでは市のほかのアカウントと連携して発信するようにしており、そういう時には、通常よりもインプレッションが10倍くらいになっているので、そうした連携は進めていきたいと思っています。

(大谷会長) 広報については、少し勇み足くらいに出していてもいいのでは、もう8月で、11月のことですから、もっと広める方向でいいんじゃないですかね。

(3)その他

この回で退任する委員のみなさんからご挨拶をいただいた。

相模原市立図書館協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	大谷 康晴	青山学院大学コミュニティ人間科学部教授	会 長	出 席
2	高柳 眞木子	みらい子育てネットさがみはら連絡協議会副会長	副会長	出 席
3	渡部 賢一	相模原市立相原中学校長		出 席
4	竹内 啓子	相模原市立相原小学校長		出 席
5	末永 暁子	相模原市公民館連絡協議会副会長		出 席
6	金子 友枝	相模原市文化協会副会長		欠 席
7	小山 憲司	中央大学文学部教授		出 席
8	宮原 志津子	相模女子大学学芸学部教授		出 席
9	遠藤 弘一	公募		出 席
10	佐々木 彩	公募		出 席